

# 安定的な電力供給体制の確立について

【担当省庁】内閣府、経済産業省、資源エネルギー庁、環境省

東日本大震災による被害や原発事故を踏まえ、我が国のエネルギー政策が転換期を迎えている今、エネルギー基本計画を早急に見直すとともに、多様で安定的な電力の供給体制を確立するため、以下の検討をお願いいたします。

## 京都府からの提案

### 1 安定的な電力供給確保を図るためのLNG発電及びメガソーラーの国家戦略としての推進

LNG発電等の高効率な発電設備やメガソーラー等の再生可能エネルギー発電設備の普及拡大は、今後のエネルギー政策の要であり、リダンダンシーの観点からも国は国土全体を見た整備計画を早急に策定し、**国家戦略として以下を推進**していただきたい。

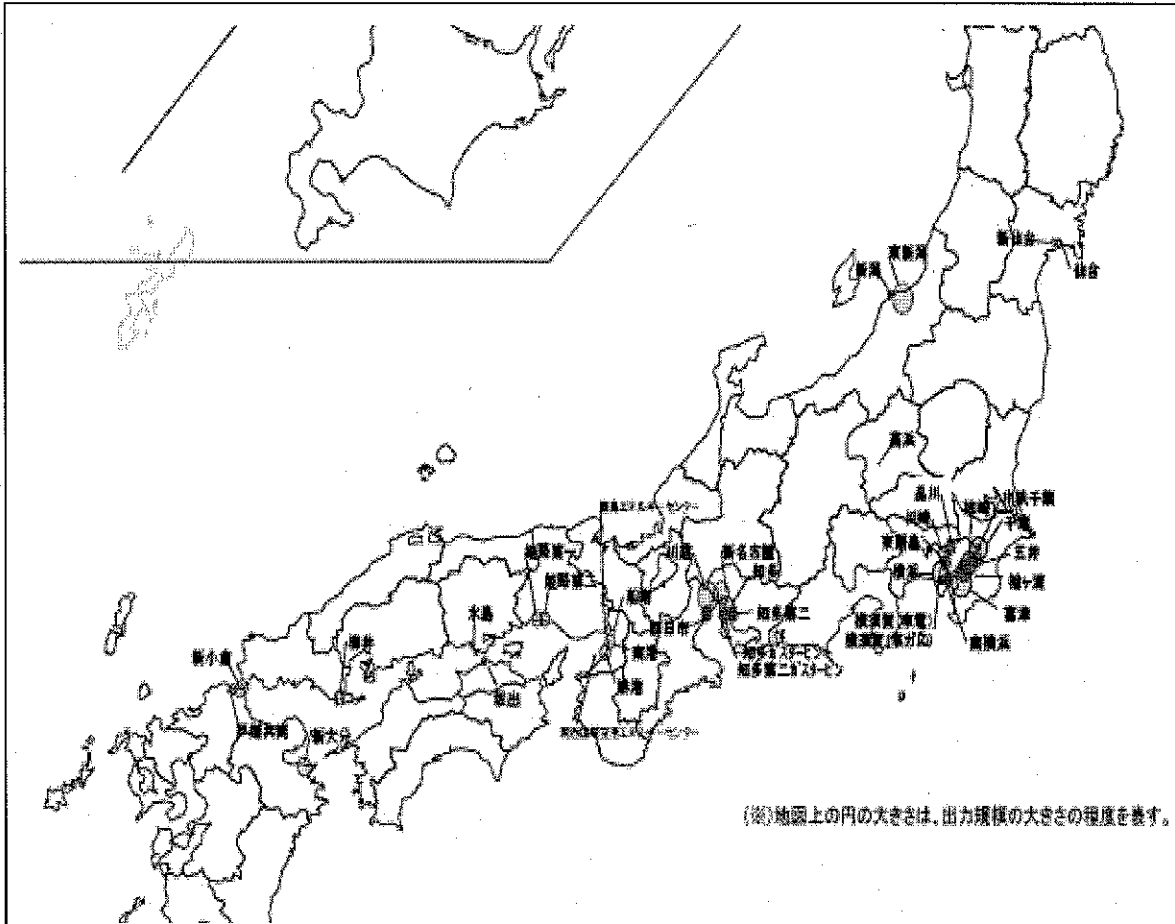
- 現在、LNG基地は太平洋側に偏在し、日本海側の特に近畿周辺は空白地帯となっている。脱原発依存の流れの中、価格も安定し、発電効率が高いLNG発電の推進に向け、京都府は、本年度当初予算にLNG発電等を含む発電施設立地・導入可能性調査費を計上したところであり、政府において**京都府域の日本海側にLNG基地を設置することを検討**していただきたい。
- また、日本のLNG価格は、国際水準からみて高いので、**アジアにスポット市場価格を開設するなど価格の引下げを図る環境づくりを検討**していただきたい。
- メガソーラーの普及・拡大のためには、事業者の初期投資の軽減を図ることが必要であるため、**低利な特別融資制度を創設**していただきたい。

### 2 宮津火力発電所の再運転

- 脱原発依存の大きな流れの中で、電力の安定確保を図るため、長期計画停止中の宮津火力発電所（エネルギー研究所）について、**速やかに再運転を開始できるよう、エネルギー基本計画の見直しに際して既存発電施設の有効活用を明確に位置付け**ていただきたい。

京都府の現状・課題等

◆全国のLNG火力発電所の分布



◆発電施設立地・導入可能性調査費（京都府平成 24 年度当初事業）

予算額	5,000千円
目的	発電施設の府域での立地・導入に向けた可能性調査
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府域での発電施設立地可能性の検討</li> <li>・小規模分散型発電施設による電力確保の検討</li> <li>・事業者に対する発電施設立地・導入意向アンケート</li> <li>・発電施設立地・導入のための施策の検討</li> </ul>

◆メガソーラー発電推進費（京都府平成 24 年度当初事業）

予算額	5,000千円
目的	エネルギー地産地消型の次世代都市モデルを構築するため、民間企業等と連携したメガソーラーの整備
調査内容	候補地の現地調査等を実施し、事業を具体化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・メガソーラー候補地の選定</li> <li>・事業採算性の調査・検討 他</li> </ul>

◆宮津火力発電所（エネルギー研究所） ※ 現在計画停止中

	1号機	2号機
運転開始	平成元年8月	平成元年12月
定格出力	37.5万kw	37.5万kw
燃料	重油・原油	重油・原油

【京都府の担当部局】

文化環境部 環境・エネルギー局 エネルギー政策課 075-414-4297